



成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2015～16年度会長 K.R. ラビンドラン

第 2677 回例会 平成 27 年 10 月 23 日(金)

- ◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテスト 歌唱
- ◇ ニコニコボックス



設楽 正行 会員:結婚して 40 周年、ルビー婚式の記念にアメリカ旅行に行ってきました。10 月を予定していましたが、雨季ということもあり 11 月に行くことになったため、親睦旅行と重なり申し訳ありませんでした。全日空の南日さんには大変お世話になりました。



川島 利昭 会員:10 月 7 日、私の父が亡くなりまして、会員の皆様にはお心遣いをいただきまして誠にありがとうございました。90 歳という年齢と、1 年くらいはほぼ病院に寝たきりの状態でした。私もあまり顔を見に行く機会がなかったのですが、90 歳まで生きられて良かったのではないかと考えております。父は 75 歳まで和菓子職人をしていましたので、今日は、米屋さんのぴーなっつ饅頭をご用意させていただきました。



小宮山 四郎 会員:久しぶりのニコニコです。第 9 分区のゴルフコンペがあり、グランドシニアの部で 1 位になりました。商品をいただけるのはシニアの部だけかと複雑な心境でした。年齢よりも若いスコアで回るアイジシュートというのがありますが、これからはそれを目指して頑張ろうと思っています。今のままでいくと、あと 15 年ぐらいで可能性が出てくるかと思えます。



諸岡 靖彦 会員:食後のお茶菓子で川島利昭会員よりご用意いただきました、なごみの米屋・ぴーなっつ饅頭についてお礼申し上げます。ぴーなっつ最中の姉妹品で、ピーナッツ型の黄色いパッケージの「千葉めぐり」という商品で、最中と一緒に詰め合わせています。最中と焼き菓子の両方の食べ比べが出来ます。さて、近頃全国団体の総会や記念大会のような全国を回る会合、コンファレンスが成田を会場に行われることが増えてきているように感じます。私が参加したもので、今月 11 日～12 日の日本経営士会全国研究大会・成田大会と、21 日～23 日の日本赤十字病院院長連盟定期総会があります。日赤の会合は、日本赤十字社の近衛忠輝社長（細川護熙元総理の実弟）以下全国 90 の赤十字病院長が夫人同伴で参加というものでした。近衛社長は「成田空港は数え切れないほど利用しているが、本日初めて成田山に参拝し、長臈よりご挨拶をいただいた」とスピーチされました。経営士会は、去年は名古屋、来年は高松と毎年県庁所在地で行われるのが恒例ですが、千葉ではなく、成田で開催されることに意義があります。経営士会は「観光による地方創生」が大会テーマで研究発表がおこなわれましたが、成田山岸田寺務長が「成田山の社会事業」の演題で地元紹介の講演をされました。成田の位置と成田への来訪客の厚みが増してきたことを嬉しく思い、今後、成田への来訪者を大いに増やしてゆくアピールが大事だと感じました。



深堀 伸之 幹事：28名で長崎へ親睦旅行に行って参りました。3日間好天に恵まれ、あまりに楽しく、バスの後方にあるサロン席でお酒を飲んでいましたら、帰りの長崎空港で携帯を無くす騒ぎを起こしてしまいました。ANAセールスの高田さんや、南日さんが素早くバスやレストランに電話を入れて問い合わせしてくれました。自分のバックを探しに行こうと立ち上がったところ、椅子の下に落ちていました。つまらないオチまでありましたが、全日空さんには大変お世話になりました。何より咄嗟の時の機敏な対応に感謝申し上げますと共に、皆さんにご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。



成田 温 会員：分区ゴルフのあと具合が悪くなり、休診日にもかかわらず橘先生に診てもらいました。ありがとうございました。



滝澤 尚二 会員：親睦リーダーの滝澤です。2泊3日の親睦旅行に行ってきました。親睦の仕事は、全部飯田会員がやってくれました。私は飲む方のリーダーをみっちりやらせていただきました。三日間、ご協力ありがとうございました。



角田 幸弘 会員：親睦旅行に行けなかったのも、せめて印旛沼クリーンハイキングにでも参加をと思いましたが、当日は土曜日。朝、スタッフから患者さんが待っているとわれ、欠席してしまいました。申し訳ありませんでした。



飯田 正雄 会員：21日、第92代警視總監の高橋清孝さんと身内で就任祝いをやるからという事で銀座に行って参りました。その時に、是非ロータリークラブで卓話をお願いしますと言いましたら、今は東京を離れられないという事で、退任されたらということでお話ししてきました。

◇ 会長挨拶

佐瀬 和年 会長

6日櫻木ガバナー公式訪問、16日~18日の旅行と、行事が続きました。

旅行は私にとって「長崎は人生の就学旅行地である」と決めていたので、三日間天候に祝福された事も合わせて、素晴らしい旅であった事に深く感謝致しております。

櫻木ガバナー公式訪問によるクラブ協議会ですが、会議の流れはスムーズで良かったのですが、内容が「お座なりで」スッキリしないような気がしました。これには私の責任が充分あります。事前にガバナーにも問い合わせ、質疑の内容を吟味すべきであったと反省致しております。

55周年行事の特別委員会を立ち上げます。11月の役員・理事会で委員の候補者をお知らせ致します。



◇ 表彰

ロータリー財団 ポールハリスフェロー
6回目 設楽 正行 会員



◇ 委員会報告

・国際奉仕
例会終了後、委員会を開催いたしました。テーマはモンゴル視察訪問を含めました取り組みの共有化についてです。

音花 昭二 リーダー



・社会奉仕

佐藤 英雄 リーダー

10月17日、第27回印旛沼クリーンハイキングが行われ、石川会員と私の二人で参加してまいりました。



・会員増強・退会防止委員会

平山 秀樹 委員長

例会終了後の委員会を延期致します。先日の会員候補紹介カードですが、訂正したものを委員の方へ送り、その後会員の方へ配布いたします。職業分類につきましては、今のままの職業分類でと考えております。



・地区RLI

諸岡 靖彦 委員長

地区RLI推進委員会のお知らせです。今月8日付で櫻木ガバナー事務所から、RLIパートⅡ及びⅢの参加ご案内が地区内全84クラブ会長宛に発信されました。パートⅠは、ロータリアン個人の開発、啓発が課題ですが、パートⅡはクラブの位置の確認や活性化が主題、パートⅢではMy Rotary Journey 私のロータリーの旅、と題したロータリー世界の広がり进行学习します。各パートともリーダーシップ、奉仕、会員増強という流れの中で、ロータリーを螺旋的に理解向上することが出来るプログラムが用意されています。各クラブ会長の推薦で参加者を募集します。パートⅠに参加されました会員はじめ、多くの会員のご参加をお待ちしています。



・ゴルフ同好会

成田 温 会員

第9分区のゴルフコンペが、八街50周年を記念して開催されました。団体優勝のカップを八街ロータリークラブから寄贈していただきました。残念ながら、このカップを持ちかえる事は出来ませんでした。優勝は成田コスモポリタンRC、2位富里RC、3位成田RCでした。貢献されたのは9位の神崎会員、11位の佐久間会員、13位の小宮山会員でした。天候も良く、皆さん楽しまれたと思います。



◇ 幹事報告

深堀 伸之 幹事

《回覧》

- ・例会変更 白井ロータリークラブ
- ・交通遺児育英会 会報誌「君とつばさ」
- ・NPO 法人ちば里山センター ちば里山新聞
- ・ハイライトよねやま187
- ・地区大会記念ゴルフ大会の御礼と報告
- ・国際ロータリーより 2017-19年度RI 理事選出に関してのお知らせ
- ・2015-16年度「奉仕プロジェクト卓話」依頼書
- ・地区大会開催のご案内 2月6日(土)～7日(日) アパホテル&東京ベイ幕張ホール
記念講演 Jリーグ初代チェアマン川淵三郎氏
- ・地区より「書き損じハガキでタイのこども達に奨学金を贈る」事業のロータリークラブの皆さんへの協力要請

《連絡》

- ・来週、村嶋会員入会式、米山奨学生卓話
- ・来週でクールビズ終了



《社会奉仕について》

社会奉仕リーダー 佐藤 英雄 会員

最初、奉仕とはということでお話ししたいと思います。

①〇ロータリーの中核となる価値観

奉仕は、私たちの使命の重要な要素である。私たちは、個々のクラブの計画と行動を通じて、奉仕する者に無類の喜びを与え組織全体の文化を創造しているのである。

【五大奉仕】

①・クラブ奉仕②・職業奉仕③・社会奉仕④・国際奉仕⑤・青少年奉仕

〇社会奉仕とは、クラブの所在地域または行政地区内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら会員が行うさまざまな取り組みからなるものです。

〇社会奉仕プロジェクトは

- ・地域社会と関連していること。
- ・ロータリアンにとって学びの機会となること。
- ・地域社会におけるロータリークラブの役割を見出すこと。
- ・現状の支援源をもってロータリアンがどのような援助ができるか判断すること。

〇2790 地区ではこんな事業が行われていました。

1. 献血
2. スポーツ教室、スポーツ大会の開催
3. スポーツ教室・スポーツ大会への協賛
4. 祭りへの参加、協賛
5. ごみゼロ
6. 清掃美化活動
7. 植樹・里山・環境整備 ※虫を育てるため、タニシをまいている（成田）
8. 出前教室 ※小学生に職業紹介（成田）
9. 文化・音楽芸術
10. 養護・介護・高齢者医療 ※車椅子の寄付（成田）
11. 身障者
12. AED 救命救急
13. 交通安全・防犯
14. チャリティーコンサート
15. インターアクト、ローターアクトとの合同事業
※東日本大震災の義捐金募金活動
16. 他団体との合同事業
※空港までの道路美化（成田）
※商店街と折半で成田山参道に AED 設置（成田）
17. 他クラブとの合同事業
18. 地区補助金事業



活動の中に、特にこれが社会奉仕の真髄じゃないかと思ったものがありました。会員 35 名の勝浦ロータリークラブさんの活動です。平成 26 年 8 月 25 日から 26 日まで、千葉県立盲学校の生徒さんをロータリーデーに招待する企画です。

当日、海水浴、歓迎夕食会、勝浦アンサンブル同好会、バーベキュー、地域の子供達と交流・花火など、次の日は、小動物との触れ合い、乗馬体験などが行われました。

〇個別プロジェクト報告書をみますと、

1. 盲学校の生徒さん及び家族の皆様を房総の地、勝浦御宿にご招待し、地域の皆様との触れ合いの場を設け、海遊び、音楽鑑賞などの体験をしていただき、同時に地域社会にロータリークラブの活動の一端を披露、理解を広めたとあります。
2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数として 150 名。
3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか、プロジェク

トはどのような人道的ニーズに応えましたかという問いには、

盲学校の生徒及びご家族、および勝浦御宿地区の地域住民。

視覚障害により日常ではなかなか体験できない海遊びや花火、乗馬などの体験を援助する事により、目の不自由を超越した感動の場を提供し、障害者と健常者が共に歌い、笑い、汗を流し、感動を共有したことによって真のバリアフリーの世界を実体験した。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。35名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つあげてください。

大型バスにて四街道からお越しいただいた生徒及びご家族を多くの会員にてお迎えし、熱射病予防のテント張り、飲み物の用意などの海遊びができる状況を準備した。

夜は勝浦アンサンブル同好会の演奏をバックに共に歌い、踊った。夜の花火では、視覚障害の子供達が楽しく花火遊びが出来るよう援助した。

2日目においては、うさぎや山羊などに餌をやったり触れ合いの場を設け、又、乗馬体験の援助をした。

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割はなんでしたか。

勝浦アンサンブル同好会：アコーディオンなどによる生の演奏

国際武道大学水泳部：視覚障害の子供達の海遊びの支援及びコミュニケーション

資金的な裏付けとして

収入

収入源

1. 地区から受領した地区補助金の資金	300,000
2. クラブ拠出金	542,172
プロジェクトのための収入合計額	842,172

支出

1. 機材設置、設営費	94,000
2. 生徒及び家族宿泊費、滞在中の食事代他	527,212
3. 乗馬調教師御礼・コース使用料	20,000
4. 2日目昼食費	37,800
5. 大型バス1泊2日借上料	140,400
6. レクリエーション賠償責任保険代	22,760
プロジェクトのための収入合計額	842,172

私個人の見解ですが、地域の人と一緒にこういう活動を行うことこそ、真の社会奉仕であるのではないかと思いました。

○地区のまとめ 2014-15年度を見てみますと、

1. 継続事業では、祭りなどへの協力、参加が多かった。身近なところで社会奉仕の典型であろうか。
2. スポーツ等の協賛、ごみゼロ、清掃美化、植樹などがクラブで行われていた。
3. 継続事業が意外に多かった。市民に認められている事業であるか。
4. メディアに取り上げられてもらうことが多かった事業として、
①スポーツ観戦・協賛 ②植樹等環境関係 ③出前教室 ④文化・音楽・芸能関係
⑤交通安全・防犯 ⑥他団体との合同事業
であった。
5. 継続事業で、一番メディアに取り上げられていたのは「出前教室」であった。
6. 複数の事業がメディアで扱われているクラブがあるが、メディアへのアナウンスでよい方法があるか。
7. 地区補助金を使ったことがあるクラブが40クラブあったが、これは多いのか、少ないのか？地区補助金をしらない、というクラブはなかった。

8. 地区補助金を使った事業でメディアに取り上げられた割合が 10%というのはいかにも少ないのではないか。もっと、売り込むべきではないのか？
9. インターアクト・ローターアクトとの合同事業をさらに実施することが望ましい。
10. 他団体、他クラブとの合同事業は、色々行われていた。

○2014-15 年度 クラブ別地区補助金承認一覧を見ても、社会奉仕関係では、20 近くのクラブが使っています。平均すると 1 クラブ 20 万円で行事を行っていることになり
ます。

○地区補助金とグローバル補助金

地区補助金を使って社会奉仕、国際奉仕をするかは大きなポイントです。地区補助金の申請は前年の会長名で行います。締め切りは 5 月の半ば。それから決定です。行事を行うのが次年度になるため、会長・幹事を含め委員は交代しています。前年のプランをそのまま次年度が継承するという難しさがあります。次年度の会長も色々やりたいことがあるかもしれないので、改善する余地があるのではないのでしょうか。

当クラブにおいて、東日本大震災の後の 2 月 25 日、成田の国際文化会館で「エクレールお菓子放浪記」という映画の上映会を行いました。入場券一人 1,000 円。2,000 枚目標でしたが、実質的には 2,400 枚ほど売れました。当日は、雨という事もあり入場者は 1,200 名近くでした。それなりの金額が被災地に送れたのではないかと思います。

震災後 3 年目、気仙沼の鹿折少年サッカーチームを、ロータリー杯サッカー大会に招待しました。その中にロータリーらしい心遣いがありました。成田到着後、すぐに成田山新勝寺を参拝し、選手全員に勝御守をプレゼント。次に成田国際空港へ。開港当時の管制塔を見学しました。サッカー大会に参加した生徒たちが成長しても思い出に残るような企画だったと思います。前日の歓迎会も、ロータリーの会員大勢に応援していただき、大変盛り上がりました。鹿折のサッカーチームが帰路に着く時は、サッカー大会に出場した選手、関係者全員で一列に並び見送りました。これも感動でした。今年もまた、青少年も含めて東日本大震災の被災地、とくに陸前高田市の高田松原の移植の話が出ていますので、それに対する義援金を送りたいと思っています。皆さん、ご協力よろしくお願い致します。

◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長

※平山会員にニューモラルを全会員分いただきました。

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
62	61	41	20	67. 21%	60. 1%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
堀口 路加 会員	10 月 26 日	地区大会米山ホームカミング の打ち合わせ
佐瀬 和年、石川 憲弘、深堀 伸之、吉田 稔、橘 昌孝 諸岡 靖彦、成田 温、浅野 正博、杉浦 健、南日 隆男 大塚 洋 各会員	10 月 27 日	プログラム委員会

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078